

災害対策委員会からのお知らせ 2021 年度 No.1

訓練です 災害に備えて 大阪府歯科衛生士会 に 安否確認を！

期間：令和3年6月18日(金)～22日(火)

◆ ◆全会員の参加を目標としておりますので、ご協力よろしく申し上げます。◆ ◆



手順：大阪府歯科衛生士会ホームページにアクセス

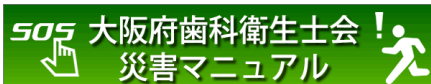
トップページの災害安否確認

バナーを click



Google フォームが開きます。(案内に沿ってご入力ください)

安否確認の予行演習



令和3年3月25日にホームページに掲載

●大規模災害時災害歯科保健活動指針

職能団体として、不測の事態に対応するための指針 大阪府歯科衛生士会災害時行動指針



●災害歯科保健活動マニュアル

- ・災害対策本部運営編
- ・歯科衛生士の基本姿勢・行動順編
- ・報告書 参考資料編 他

令和3年度 災害対策委員会 予定

- ・災害対策委員会 4回開催予定
(第1回は4月1日にリモート会議で開催しました)
- ・災害対策委員会からのお知らせ 必要時発信予定
- ・安否確認予行演習予定 (年4回)
 - 令和3年6月18日 (大阪北部地震2018年)
 - 令和3年9月5日 (大阪880万人訓練にあわせて)
 - 令和4年1月17日 (阪神・淡路大震災1995年)
 - 令和4年3月11日 (東日本大震災2011年)
- ・災害歯科保健歯科衛生士登録更新と登録者の収集 令和3年9月
- ・災害の備蓄品チェック (年1回) 令和4年3月

災害を知って私たちができる防災準備を考えてみませんか！

6月18日～22日の期間に安否確認演習のご協力をお願いしています。

この6月18日は、平成30年の朝8時前に大阪北部（大阪市北区・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市）で最大震度6弱を観測しました。この地震を鮮明に思い出される方、大阪に住んでいてもそれほどのイメージは残っていない方がいらっしゃると思います。当時の状況をSNSに投稿したものを高槻市在住の会員の方より紹介いただけました。ご協力ありがとうございます。

実際の状況からそれぞれできる防災準備や心がけを考えていただければ幸いです。

2018年6月19日

腰の痛みで夜中に目が覚めました。

昨日は、大阪北部を中心に襲った地震で一日振りまわされていました。

〈6月18日地震当日〉

連日の雨で職場にバイクを置いたままにしていた次女を車で送ってから訪問口腔ケアにお伺いする施設へ行くことになって・・・

高槻から枚方の娘の勤め先病院に向かっている途中の淀川にかかる「枚方大橋」の上で大地震に遭遇しました。この橋の渋滞は常で、のろのろ進んでいたら、いきなり車が大きく2回ほどバウンドし、タイヤで人でも引いたのかと・・・瞬時に地震とわかりました。腰はこの時痛めたのでしょう。

この時「携帯の緊急放送」は地震発生後で、直下型地震には役立たないことがわかりました。

携帯電話も繋がりにくく、自宅にいた出勤前の長女からは「レンジがひっくり返ったり大変」と固定電話から電話がありましたが・・・「貴女は仕事を半休にして、家を片付けて・・・」と頼み、SMSメッセージを見ると地元歯科医師会担当者から対策室ができるかもしれないと連絡・・・しまった！

「地震時における避難場所担当表」

これは携帯端末にデーターとして保存しておかないと意味がない。

災害時は携帯電話の通話がほぼ役に立ちません。

かなりの交通渋滞の中、次女（病院勤務でなければ・・・）を送り届けた後、帰りも渋滞。担当施設で何かの手助けにならないかと思って走っていましたが、隣の茨木市の実家でも大変な事になっているらしく、実家に向かいました。

途中、お昼に軽食でもコンビニ立ち寄りも、閉まっていたり、開いていてもおにぎりやお弁当の棚は見たこともないようなスカスカ状態。コンビニを後にして車を走らせるも、国道沿いには通勤途中に電車から降ろされたであろう帰宅困難者が徒歩で移動、乗せてあげたかったけれども、たくさんすぎて無理。

実家は古い家なので屋根瓦がずれて道に散乱し、2階のトイレの配管からは水がどしゃぶりのようにあふれた跡、食器や本も散乱したらしく、兄嫁と甥の嫁が片付けをしていました。

勝手口のドアが開かなくなったと難儀していたのを足で蹴飛ばし開けて・・・ひとつ解決。

電車とバスに乗り継いで来た兄嫁の父（元大工さん）と合流し、屋根の応急処置のブルーシートと水を部分的に止める金具を買いにホームセンターに行くこと地震の為、閉店。もう一軒も閉店か？

店内通路は落下商品がそのままの状況ながら開店してくださること・・・涙がでるほどの感謝です。水栓金具はあったけど、ブルーシートは見事売り切れ。業者が買い占めたようです。とりあえずブルーシートを止める土嚢袋とロープを買い帰宅。夕方には工務店の担当者がブルーシートをかけてくれて安堵しました。

母のベッドは水浸しで、デイサービスに行ったままショートステイしてもらうことになり一安心。帰り道の渋滞も緩和され、（中略）スーパーに寄ると見事にペットボトルのお茶は売り切れ、飲み物の棚はスカスカ。家に帰り、断水していたのでお皿にラップを引き、ワンプレートディナー？（中略）洗い物が出ないし、今日の夕食は手抜きでラッキー！？

お水は地震直後に長女がお風呂やポットに水を溜めてくれていました。水が出てるうちに用意してください。近所は濁り水だったようですが、我が家はセントラル浄水システムで飲み水確保OK。濁り水でもトイレには必要です。我が家は災害時に3日分の水と食料も備蓄していました。地震の被害は報道されているよりそんなに凄くなく、今回の教訓はパニックになった人々の方が恐ろしいと思いました。我が家は被害が少なく大した事がなかったですが「今後は心しておかないと」と実感しました。

『備えあれば憂いなし』です。（岡川安子様より）